

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ハッピーテラスキッズ 町田駅前教室 （児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25日 ～ 2025年 12月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 11月 25日 ～ 2025年 12月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 26日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1対1の完全個別療育であり、概ね半年間、担当が専任でついている。『太田ステージ』という理論の評価・支援方法を中心に、オーダーメイドの療育を実施している。	きめ細やかに発達段階に合わせた療育を行ったり、指導員の質を一定にしたりする為、太田ステージの発達課題に沿って療育を行うようにしている。指導員全員が担当ではない利用者の発達段階、特性、課題等を理解をする為、半年に1回行うテストの結果を把握したり、毎日利用者についての共有時間をもうけている。	達成されるまで繰り返し課題を行う場合がある為、教材や方法を工夫をして、利用者が楽しんで取り組み続けられるように工夫する。指導員によって支援方法が異なることのないよう、また全体の質を一定に保つため、研修体制をさらに整える。
2	保護者支援に力を入れている。	概ね半年間担当者が変わらないことや、会議や毎日の共有時間で利用者全員の状態を全指導員が把握できるように努めている。担当者が数か月変わらないことで、保護者が相談しやすい環境であると思われる。	今年度は、保護者向けの研修が行えていないため、今後検討したい。また、ご希望があればいつでも面談を実施することが出来るが、そのことがまだ保護者に十分に周知されていない為、今後周知を徹底していきたい。
3	園との連携を行っている。	保護者からのご相談内容の聞き取りの中で、必要と判断したり、依頼があった場合は、園訪問や電話面談を行っている。園訪問や電話面談の際は、それぞれの環境での利用者の様子の共有、課題の共有と対応アドバイス等を行い、保護者の安心と適切な支援に繋がるように努めている。	保護者からの訪問希望時期から、訪問まで時間がかかることがあるため、訪問日までの間に電話連絡等で、園と連携していく。訪問が難しい場合は、早急に行える手段として電話面談を行うようにしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の場、保護者向きの研修、地域との交流が少ない。	療育の内容の充実や質の向上に重点を置いていることにより、保護者会や保護者の研修等の企画、実現ができていない。	保護者向けの研修、イベント等を企画することを検討する。
2	フィードバックの時間で面談が不十分であるときは、別の日時で保護者面談を設定することができるが、そのことについての周知が足りない。	必要に応じて個々に周知しているだけで、全利用者への周知をしていない。	契約時やお便り、一斉ライン等で、さらに保護者に周知していくことを検討する。
3	活動概要、業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して十分に発信されていない。	個別療育、グループ療育ともに、保護者同伴の為、活動内容の周知はされていると思うが、自己評価の結果については、公表の周知がなかった。	自己評価の結果公表のタイミングで、ブログやラインで周知する。